

会員のひろば

■ 1年をふり返ってみて

山賀隆司(僧坊・旭<旭>)

毎日続いた家と職場の往復という生活から離れ、これからは時間を自由に使えるようになったから、さて何をやろうと思っても、やりたいことは案外思いつかないものです。猫の額のような家庭菜園もまだまだ始めたばかりでどうなることやら。家族からは「家でぼーっとしていたら余計老けてしまうで、ボケたら知らんで！」と云われ、さてどうしたものかと思案していた頃にシルバー人材センターが草刈り技能講習会の受講生募集をしているのを知りました。あまりやったことのないものでしたが、今までと違う経験がしたいと思い受講しました。座学と実地の指導は充実したものでした。先輩方にもっと仕込んでもらえたらと思い、

すぐ入会手続きをしました。その後、ベテランの先輩方と一緒に就業させてもらっていますが、まだまだ新米の域を出られてないように感じます。もっと見て習得し経験を積み重ねるしかないをつくづく思います。それでも、やりがいと達成感は何とも言えないものです。剪定講習会も受講し、何回か呼んでいただきましたが、同じように、見て習得し経験を積み重ねるものだと感じました。

まだ、会員になって1年が過ぎたばかりの新米ですが、これからもコツコツとがんばって技能の向上と経験のアップを目指してベテランの先輩方や仲間たちと充実した毎を送りたいと思います。

■ 出会い

尾崎富美子(光台4丁目)

「どうして精華町に」

友人の引越しの手伝いに来たのが精華町でした。リビングからすぐ目の前に山がみえて、緑いっぱいの田んぼがありました。

「こんなところに住めたらいいな～」と、今思えばそれは乾谷の集落。桜が丘からの眺めでした。友人の情報からとんとん拍子に分譲地の申し込み、当選と購入と、50歳からの決断でした。もちろん夫の意志も同じです。2世帯住宅と考えての間取りが、今は広すぎる住居に夫と2人暮らしています。

「そして60歳でシルバーの会員に」

その頃のシルバーの事務所は、たしかATRの向かいにありました。それはURの建物で、精華町開発の歴史の展示場でした。丸太づくりの2階建。光台からは、近くて便利な場所でした。今はすっかり建物も

壊されて、日本庭園の跡形もなくなりさみしいかぎりです。

私の趣味は家庭菜園。お隣さんからの誘いに、乾谷に1区画の農園を借りたのが最初でした。シルバーが募集をしていた堆肥づくりの講習会に参加をしました。堆肥場で育てたカブトムシを子供たちにプレゼントする。そんな企画にも参加したりして……。

精華町に移り住んでいろんな出会いがありました。ボランティア活動の仲間、菜園仲間等、「継続は力なり」でしょうか？今やなくてはならない仲間になりました。今年は新たにシルバーの広報の担当になり、まだ始まったばかりですが、会員の方々とお目にかかり、お話する機会が増えることでしょう。まだまだ未熟ですが、体当たりで前を向いてわくわくしながら担当させていただきます。続けてよかったと思えるように……。

広報委員会の顔

9月13日よりメンバーが変更になりました。当シルバーの広報誌とホームページを編集していきます。

後列左から
山本圭一(事務局)
清水泰律会員
尾崎富美子会員
前列左から
山賀隆司会員
齋藤光子(理事)
母谷章宣会員

